東京科学大学病院では

救急救命士

が勤務しています！



救急救命士とは

1991年に誕生した国家資格で、救急医療のスペシャリストです。
医師の指示のもと、心肺蘇生、静脈路確保、気管挿管、薬剤投与などの救急救命処置を行います。

当院では、2016年に国立大学病院で初めて病院救急救命士を雇用し、救急診療体制を強化して参りました。

当院での主な業務

- 救命救急センターでの初期診療
- ドクターカーによる病院前救急診療
- 病院救急車による転院搬送
- DMAT活動（災害派遣医療チーム）
- メディカルスタッフに対する救急・蘇生教育





救急診療において、医師とともに、救急救命士が救急救命処置を行っております。
患者様におかれましては、ご理解のほど、よろしくお願い致します。

東京科学大学病院　病院長